# チラシ裏日記上等!!新館

Webアプリケーションエンジニアの雑記帳。映画とかアニメとかの記事も書きます。







RyuRyumall おしゃれなアイテム勢ぞろい

Google 提供

Q

トップ > AWS > aws-cliでECSのTaskDefinitionとServiceを更新する

#### 2019-03-10

# aws-cliでECSのTaskDefinitionとServiceを更新する

#### ■ AWS

CIでデプロイするときはコマンドでTaskDefinitionのリビジョンを更新し、更新したTaskDefinition を使うようにServiceを更新したいと思います。

ECS関連でデプロイするためのOSSは割とあるので、ちゃんとやりたいときはそっちを使ったほうが便利だと思います。aws-cliを使ってやろうとするとちょっと苦労するのですが、そのあたりの情報が少なかったのでメモがてら残そうと思います。

#### 叩くコマンド

叩くコマンドを次に示します。

TaskDefinitionのリビジョンの更新は次のコマンドで実行します。

\$ aws ecs register-task-definition --family family名 --cli-input-json "\$(aws ecs describe

Serviceの更新は次のコマンドで実行します。

update-service --cluster cluster名 --service service名 --task-definition TaskDefinition名

aws-diとjqを使ってなんとか出来ます。jgが必要なのはちょっと悔しいところです。jqでなくても jsonをよろしく扱えるコマンドがあればそれで代用は可能だと思います。

# TaskDefinitionのリビジョンの更新

TaskDefinitionの更新は既存のTaskDefinitionの最新を取得してそれを利用して再度登録することで 宝琅します。

2つのコマンドの組み合わせで実行します。次のコマンドは既存のTaskDefinitionを取得するコマンドです。

\$ aws ecs describe-task-definition --task-definition TaskDefinition名

このコマンドを実行すると次のような結果が得られます。

```
{
    "name": "com.amazonaws.ecs.capability.ecr-auth"
},
{
    "name": "com.amazonaws.ecs.capability.logging-driver.awslogs"
},
{
    "name": "com.amazonaws.ecs.capability.docker-remote-api.1.21"
},
{
    "name": "com.amazonaws.ecs.capability.docker-remote-api.1.19"
},
"name": "com.amazonaws.ecs.capability.docker-remote-api.1.19"
}

placementConstraints": [],
"compatibilities": [
    "EC2"
]
}
```

このjsonからTaskDefinitionを登録するための containerDefinitions をjqを使って取り出します。

```
$ aws ecs describe-task-definition --task-definition TaskDefinition名 | jq '.taskDefinition名 | jq '.taskDefinition | jq '.taskDefinit
```

```
\$ aws ecs register-task-definition --family family\& --cli-input-json TaskDefinitionOJSO
```

family名を指定すればリビジョンのみを更新したTaskDefinitionが作成されます。 --cli-inputjson に先ほど取り出した containerDefinitions を指定すれば良いです。

以上のコマンドを組み合わせて作ったワンライナーをもう一度示します。

を実行すると新しいTaskが実行されデプロイが完了します。

```
$ aws ecs register-task-definition --family family名 --cli-input-json "$(aws ecs describe
```

#### Serviceの更新

TaskDefinitionを更新するだけではServiceは更新されないのでServiceを更新するコマンドを叩きます。Serviceを更新するコマンドは次です。

```
$ aws ecs update-service --cluster cluster名 --service service名 --task-definition TaskDe

◆

これに関しては特に難しいことはなく update-service を実行しているだけです。このコマンド
```

# まとめ

以上TaskDefinitonとServiceを更新するコマンドを見ていきました。出来ればaws-cliだけで実現したかったのですが、JSONを扱う都合上jqに頼らざる終えませんでした。ひょっとしたらもっとスマートな方法が他にもあるような気がしましたが、とりあえずリビジョンの更新と新しいリビジョンを使用したServiceの更新はできました。

Taskの更新とかはAWSでしか使わない知識なので学習コストとしては微妙な感じですね。デプロイの仕組みも自前でなんとかする必要があるので、もうちょっとちゃんとやるならkubernetesを使ったほうがいいんだろうなと思いました。

# 広告



#### 関連記事

自分で運用しているサービスのインフラに一月でかかるお金について AWS Webサービス



AWSで機械学習のための開発環境を用意する機械学習 AWS





#### GitHubコントリビュート状況

\* \* \*

« 旧キット 1/2400スケール ホワイトベース... じぶん Release Notes (ver 0.31.2) »

#### 最新記事



YAPC::Hiroshima 2024 に参加してきた #yapcjapan 2 use 旅 YAPC 写真



2024-01-11 今さらだけど昨年の振 16だけど昨年の振り返り り返りと今年の目標 今年の目標 今年の振り返り 今年の目標

- そして英語での仕事の

総括。 <sup>2 users</sup>



Advent Calendar golang

------------人Go学習 Advent Calendar 2023 —

2023-12-26 ハワイ旅行

#### 注目記事

aws-cliでECSのTaskDefinitionと Serviceを更新する Zusers

2016-03-20 機動戦士ガンダム0083 スターダスト メモリーは辛いガンダムだと思った アニメ ガンダム

2019-01-20 Fate/stay night Heaven's feel の第二章 を見に行ってきました アニメ 映画

2017-01-29 numpyで画像をベクトル化 <u>luser</u> python 機械学習

2016-12-04 戦闘シーンが熱い!劇場版艦これを見 てきました アニメ 映画 艦ごれ

#### 月別アーカイブ

- ▶ 2024 (2)
- ▶ 2023 (33)
- ▶ 2022 (16)
- ▶ 2021 (31)
- ▶ 2020 (26)

▼ 2019 (52)
2019 / 12 (6)
2019 / 11 (4)
2019 / 10 (3)
2019 / 9 (6)
2019 / 8 (5)
2019 / 7 (4)
2019 / 6 (4)
2019 / 5 (4)
2019 / 4 (3)
2019 / 2 (3)

2019 / 2 (3) 2019 / 1 (5)

- ▶ 2018 (35)
- ▶ 2017 (68)
- **▶** 2016 (58)
- ▶ 2015 (44) ▶ 2014 (20)
- ▶ 2013 (49)
- **▶** 2012 (48)
- ▶ 2011 (12)

# 同人誌

サークル名:楽描帳 タイトル:コンテナ時代のWebサービスの 作り方

コンテナ時代の Webサービスの作り方 コンテナで動かすWebアプリケーション



# カテゴリー

写真 (41) YAPC (2)

旅 (22)

今年の目標 (11)

今年の振り返り (10)

英語 (6)

Advent Calendar (32)

golang (6) 雜記 (29)

本 (77)

プラモデル (6)

週報 (23)

映画 (32) 展覧会 (5)

javascript (18)

# 関連記事

自分で運用しているサービスのインフ ラに一月でかかるお金について Luser AWS Webサービス

2017-01-15

AWSで機械学習のための開発環境を用

機械学習 AWS

プロフィール



nasum (id:Tomato-360)

